

2017年度 政務活動費支出整理簿

(会派名 市民の目)

経費項目	視察研修費		(会派名 市民の目)
整理番号	月日	支出額(円)	支出内容
1	4月19日	20,000	研修会参加費(全国地方議員社会保障研修会・4月24～26日)
2	4月22日	27,240	交通費(JR東京都区内～大阪市区内・往復)
3	4月24日	12,800	宿泊費(4月24～25日)
4	6月22日	15,000	研修会参加費(生活保護問題対策全国会議・8月25～26日長野)
5	8月8日	8,000	研修会参加費(市民自治を目指す三多摩議員ネットワーク・8月8～9日)
6	8月10日	1,000	学習会参加費(都政を考える自治体議員の会)
7	8月25日	6,590	交通費(JR東京～長野)
8	8月26日	7,500	宿泊費(8月25日)
9	8月26日	6,590	交通費(JR長野～東京)
10	11月28日	1,000	研修会参加費(五つ星運動との対話集会・参議院議員会館)
11	2月1日	4,000	研修会参加費(地方×国政策研究会・衆議院第一議員会館)
小計		109,720	備考
合計			

領収書添付用紙

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

整理番号 / 1. W

調査研修費		【内容説明欄】 研修参加費 4/24~26 宿泊費 4/24~26
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		

領収証

市民の目 森 てるお

様 No. _____

¥ 20,000.-

但 全国地方議員社会保障研修会参加費

入金日 2017 年 4 月 19 日 上記正に領収いたしました

収 入 印 紙	内訳	_____
	税抜金額	_____
	消費税額等 (%)	_____

大阪社会保障推進協議会
〒530-0034 大阪市北区錦町2-2 国寿会館内
TEL 06-6354-8662
FAX 06-6357-0846

領収書

No. 00001617-00
2017/04/24

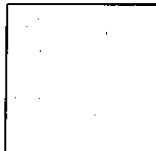
市民の目 様

金額 ￥ 12,800 -

(内消費税 ￥948)

但し、ご宿泊代

として、
上記金額正に領収いたしました。



HOTEL TRAD
〒543-0026 大阪府大阪市天王寺区東上町8番22号
TEL 06-4305-3611 FAX 06-4305-3612



【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 2、4

調査研修費		【内容説明欄】 交通費 4/24~26 研修参加費 4/25、26
視察研修費	○	
広報費		
広聴		
資料作		
資料購 事務		

領 収 証 No. _____

2017年4月22日

【領収】 市民の目 様

¥ 27,240-

但 JRチケット代

上記正に領収いたしました

内 訳	
現金	
小切手	/
手形	/
消費税額 (%)	

〒199-0011 東京都西東京市田無町2-1-1
大黒屋 田無アスタ店
TEL 042-452-2177 FAX 042-452-2178

領 収 証

平成29年 6 月 22 日

市民の目 様

以下のとおり、領収いたしました。

金 15,000 円也

但し

- 第9回生活保護問題議員研修会・参加費として
- 第9回生活保護問題議員研修会・弁当代として
-

大阪市北区西天満3-14-16西天満パークビル3号館7階
あかり法律事務所内
生活保護問題対策全国会議
代表幹事 尾藤廣喜

東京都板橋区板橋4-4-3白鳩マンション201
マックチャレンジサポート内
全国公的扶助研究会 会長 吉永純

領収書添付用紙

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

整理番号 子 5.6

調査研修費	<input type="checkbox"/>	【内容説明欄】 研修費
視察研修費	<input checked="" type="checkbox"/>	
広報費	<input type="checkbox"/>	

領 収 証 市民の目 様 No. _____

★ 8,000円

但 研修費として

2017年 8 月 8 日 上記正に領収いたしました

内 訳

収 入 印 紙	税抜金額
	消費税額等(%)

コクヨ ウケ-55

市民自治をめざす三多摩議員ネットワーク

東村山市美住町1-24-22
大塚東美子

領収書

市民の目 様

金額 1,000 円

但 学習会参加費として

上記正に領収いたしました

2017年 8 月 10 日

都政を考える自治体議員の会

東京都江東区大島 9-4-2-1207 中村まさ子

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

8/8/17

8/10

領収書添付用紙

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

整理番号 7.9.10

調査研修費	
視察研修費	○
広報費	
広聴費	
資料作成費	
資料購入費	

【内容説明欄】

交通費 8/26.26
研修参加費 11/28

領収書

Receipt 様
 領収年月日 2017.-8.25
 領収金額 ¥6,590
 上記金額確かに領収いたしました
 購入商品 JR乗車券類 JR tickets
 (00287 2枚)
 東日本旅客鉄道株式会社
 池袋駅
 池袋駅VF8発行 10288-01

印紙税申告納
 付につき渋谷
 税務署承認済

領収書

Receipt 様
 領収年月日 2017.-8.26
 領収金額 ¥6,590
 上記金額確かに領収いたしました
 購入商品 JR乗車券類 JR tickets
 (30262 2枚)
 東日本旅客鉄道株式会社
 長野駅
 長野駅VF57発行 40263-02

印紙税申告納
 付につき渋谷
 税務署承認済

領収書

平成29年11月28日

様

¥ 1,000-

但し、資料代として上記正に領収致しました

内訳
 税別金額
 消費税額

〒102-0093 東京都千代田区平河町
 2-3-10 ライオンズマンション平川町 205
 五つ星運動との対話集会実行委員会

伊沢けい子 ()

領収書添付用紙

宿泊費

NO. 5 A

ご請求明細書
Amount Description

ホテルナガノアベニュー
〒380-0823 長野県長野市南千歳2-8-5
TEL:026-223-1123 FAX:026-223-7690

客室番号 Room No.	お名前 Name Of the Guest	人数 Pers	ご利用日 Date
621	市民の日 様	1	17.08.25 - 17.08.26(1泊)

日付 Date	摘要 Description	料金 Charges	お支払 Payment	備考 Remarks	
08.25	前受金(現金)		CA 8,580		
08.25	ご宿泊代	7,500			
08.25	朝食	1,080			
小計 Sub Total		8,580	8,580		
クーポン Coupon	クレジット Credit	売掛 Charge	現金 Deposit	その他 Other	ご請求額 Balance Due
			8,580		ご返金額 Refund

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。
領収書の再発行は致しかねますので、予めご了承くださいませ。

発行No. 146612
No. 201708260051
発行日 2017.08.26
11 CA 1

ご署名
Signature _____

会社名
Firm _____ (1/1)

領収書
Receipt

No. 201708260051
2017.08.26

市民の日 様

¥8,580

7,500



上記正に領収致しました。金額は税込表示となります。
但、

ホテルナガノアベニュー
〒380-0823 長野県長野市南千歳2-8-5
TEL:026-223-1123 FAX:026-223-7690

領収書添付用紙

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

整理番号 6 //

調査研修費		【内容説明欄】 研修参加費
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

地方 × 国政策研究会

領 収 証

市民の目 様

4,000 円

但し 政策研究会参加費として

2018年2月1日

自治体議員政策情報センター 虹どみどり
〒700-0971 岡山市北区野田 5-8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7723 FAX 086-244-7724

【留意事項】

- この用紙は、
す。ホーム
てください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

いただくもので
しないようにし

調査研修（宿泊研修）報告書

名称：全国地方議員社会保障研修会

主催：大阪社会保障推進協議会

日時：2017年4月24日から4月26日

講義：①介護保険審総合事業と時期見直しの争点

②子供の貧困～現状の問題点と国・自治体施策

③生活再建のために～生活保護、債務整理、ギャンブル依存症の基礎知識

④公務再建・滞納処分の基礎知識と対処法

⑤国補都道府県単位化最新情報と今後の争点

初日13時から、2日目、3日目9時半からの濃密な講義だった。社会保障の現状と生起してくる問題についての解説、そしてそれらに対する対処法の一部を学ぶことができた。

具体的内容としては、介護保険は第7期計画について、また新総合事業をどのようにとらえるべきかなどを学んだ。子供の貧困については、記者の方から取材を通じるなどして得た現状の報告と、地方自治体としてできる施策等を提示してもらった。生活保護については生活再建の視点から、債務整理やギャンブル依存症の基本的な問題点について弁護士の話を伺った。

公的債権の滞納処分について基礎的な知識を教わった。各自治体とも税等徴収事務の強化の一環として滞納処分を進めているが、過度な（違法な）滞納処分が行われている例が見受けられる。生活が成り立つ範囲にとどめる徴収処理になるような対処を考えた。

2018年度から始まる国民健康保険の都道府県単位化とは何か、どこに問題点があるのか、最新の情報の提供とともに今後争点とすべき事柄について学ぶことができた。主催団体の事務局長からご教示を受けた。

2017年度大阪社保協「全国地方議員社会保障研修会」

レジュメ・資料集

	日程	テーマ	頁	講師
①	4月24日(月) 13時～17時	介護保険新総合事業と次期見直しの争点	1	日下部雅喜(大阪社会保障推進協議会 介護保険対策委員長)
②	4月25日(火) 9時半～12時半	子どもの貧困～現状の問題点と国・自治体施策	59	中塚久美子(朝日新聞記者)
③	4月25日(火) 13時半～17時	生活再建のために～生活保護、債務整理、ギャンブル依存症の基礎知識	89	徳武聡子(司法書士・日本司法書士会 連合会経済的困窮者の権利擁護部会部会 員・生活保護問題対策全国会議事務局次長)
④	4月26日(水) 9時半～12時半	公的債権・滞納処分の基礎知識と対処法	145	戸田伸夫(税理士)
⑤	4月26日(水) 13時半～17時半	国保都道府県単位化最新情報と今後の争点	155	寺内順子(大阪社会保障推進協議会 事務局長)

会場 大阪府保険医協会 MD ホール

主催 大阪社会保障推進協議会

TEL / 06-6354-8662 FAX / 06-6357-0846

メール / osakasha@poppy.ocn.ne.jp

調査研修（宿泊研修）報告書

無所属・市民の目 森 てるお

名 称：三多摩議員ネットワーク夏合宿
主 催：市民自治を考える三多摩議員ネットワーク
日 時：2017年8月8日から8月9日
参加費：8,000円（参加費・宿泊費）

講義：①ヘイトスピーチ解消法1年、現状と課題
②道徳の教科化は何が問題か
③各市からの現状報告
④事例研究・検討

- 1、視聴者の改築、移転、新築の状況から
- 2、子どもの学習支援における課題
- 3、公文書管理における各市の現状と課題

ヘイトスピーチとは何か、現状はどうなっているのか、自治体でどのように取り組むべきなのかなど、長くこの問題に取り組んでこられた講師（弁護士）のお話を伺い、各自治体で、また、当会で一緒に取り組むことなどについて研究・検討をした。多様化する社会の中で、社会の分断、人権の重大な侵害としてヘイトスピーチを根絶する必要があると再認識させられた。

道徳が教科化されることについて、何が問題となるのか、また教師が取り組むべきこと、保護者や市民ができることなどについて研究・検討を行った。道徳は特別な教科とされているように、他の教科と違って「評価」になじまない。こどもの行動を一つの方向に誘導する、こどもに考えて身に付けてもらおうべきことをも大人の価値観に染め上げてしまう、そんな恐れが評価によって現実になってしまう。

三多摩各市の議員で構成している当会では、各市が抱える問題・課題やそれらに対する取り組みを報告しあって、先進事例に学びつつ、各市の課題解決についての研究・検討をしている。そんな各市の取り組みの事例報告を受けて、活発な意見交換を行った。

三多摩議員ネットワーク夏合宿行程表

実施月日 : 8月8日 13時～8月9日 12時

実施場所 : 府中市生涯学習センター

東京都府中市浅間町1-7 TEL: 042-336-5700(代)

○東府中駅から路線バス(京王バス)【府75】系統「武蔵小金井駅南口」行き、「若松町四丁目」バス停下車、徒歩5分。(毎時2～4本、乗車4分)

○「武蔵小金井駅南口」から路線バス(京王バス)【府75】系統「東府中駅」行き、「若松町四丁目」停留所下車、徒歩5分。(毎時2～4本、乗車15分)

費用 : 1講座2,000円、2講座3,000円、宿泊(講座費込み)8,000円

スケジュール

8月8日

13:00 ~ 15:00

講座1 「ヘイトスピーチ解消法施行1年、現状と課題」
講師: 師岡 康子 氏 (弁護士、東京弁護士会)

15:15 ~ 17:15

講座2 「道徳の教科化は何が問題か」
講師: 宮澤 弘道 氏 (「道徳の教科化を考える会」代表)

17:20 ~ 18:20

夕食

18:30 ~ 20:00

各市からの報告

20:00 ~ 22:00

懇親会 (休憩室「ゆりのき」; 3階)

8月9日

10:00 ~ 12:00

事例研究・検討会

1、市庁舎の改築、移転・新築状況から、何を見るか
(立川氏からの報告、大沢さん)

2、子どもの学習支援における各市の課題

3、公文書管理における各市の現状と課題

(あきる野市からの報告、各市の実態調査票をもとに、辻さん)

農業委員会、特別養護老人ホームについては今後の検討課題とする。

調査研修（宿泊研修）報告書

無所属・市民の目 森 てるお

名称：貧困対策はどこに向かうのか、長野で生活保護を考える

主催：生活保護問題対策全国会議・全国公的保護研究会

日時：2017年8月25日から8月26日

参加費：~~36,780~~円（参加費 15,000円・交通費 13,180円・宿泊費 ~~8,580~~円）

04680

7500

講義：①生活保護の動向と生存権の保障

②メディアから読み取る「生活保護と子どもの貧困」

③医療現場から見える子どもの貧困

④当事者の声を聞く～生活保護世帯実態調査を踏まえて～

⑤私のまちの生活保護～議員としてのチェックポイント

⑥生活困窮者自立支援制度は機能しているか

⑧「誰もが受益者」という財政戦略

各分野における専門家の話を聞いて、どうするべきか、何ができるかと考えさせられることの多い研修であった。

生活保護受給者の捕捉率が先進国では最低レベルにある中で、生活保護基準の切り下げが相次いでいる現状をどうすればいいのか。さまざまに示唆をいただいた。

いろんな理由で今の貧困は目には見えにくい。そんな現実の中で有効な対策を考えなければならない。

小田原市の「(生活)保護なめんな」のジャンパー事件のあとに作られた当事者、有識者などを集めた「生活保護行政のあり方検討会」の座長を務められた井出英策さんから「誰もが受益者」という財政戦略と題する講演をしていただいた。面白い着眼であった。また、生活保護の持つイメージを払拭するために、権利としての生活保護という意味で生活保護受給者と呼ばずに「生活保護利用者」という呼称を小田原市に提案された。

こんなところから生活保護差別やバッシングがなくなっていけばいいなどの感想を持った。

第9回生活保護問題議員研修会

貧困対策はどこに向かうのか 長野で生活保護を考える

例年、ご好評いただいている地方議員の皆さま方を対象とする

生活保護制度に関する研修会を今年も開催いたします。

各分野の専門家を講師として迎え、地方行政に何ができるのかを考えます。

是非、多数ご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

8月25日(金)~26日(土) 信州大学 長野(工学)キャンパス

1日目
8月25日(金)
(12:00 受付)

- 13:00 開会挨拶・基調報告 生活保護の動向と生存権の保障
- 14:00 講演 1 メディアから読み取る「生活保護と子どもの貧困」
- 15:05 講演 2 医療現場から見える子どもの貧困
- 16:40 特別報告 1 当事者の声を聞く～生活保護世帯実態調査をふまえて～
- 17:10 特別報告 2 私のまちの生活保護～議員としてのチェックポイント
- 18:00 交流会(自由参加)
- 19:00 終了

2日目
8月26日(土)
(9:00 受付)

- 9:15 第1分科会 生活保護なんでもQ&A
- 9:15 第2分科会 生活困窮者自立支援制度は機能しているか
- 9:15 第3分科会 子どもの貧困と自治体のとりくみ
- 9:15 第4分科会 自治体で考える住宅セーフティネット
- 9:15 第5分科会 低所得者への医療保障(国保・無料低額診療事業)を考える
- 12:45 講演 3 「誰もが受益者」という財政戦略
- 14:30 まとめ 今こそ生きる権利の確立を

共催：生活保護問題対策全国会議・全国公的扶助研究会

Stop a chain. Stop